

H31.2.21 平成30年度函館市医療・介護連携多職種研修会(医療関係者向け)

アンケート集計結果 分析

n = 49 (回収率 86.0%)

1. 所属機関をお聞かせください。

・病院	35	(71.4%)
・診療所	3	(6.1%)
・薬局	11	(22.4%)

2. 現在、従事されている職種をお聞かせください。

・医師	0	(0.0%)
・薬剤師	10	(20.4%)
・看護師	18	(36.7%)
・リハビリスタッフ	9	(18.4%)
・管理栄養士・栄養士	3	(6.1%)
・相談員	2	(4.1%)
・事務員	4	(8.2%)
・その他	3	(6.1%)

(介護福祉士、登録販売者、無記載 各1名)

3. 研修会を受講し、ご自身の理解は深まりましたか？

・深まった	49	(100.0%)
・どちらともいえない	0	(0.0%)
・あまり深まらなかった	0	(0.0%)

【ご意見等】

- ・わかりやすかった。
- ・先生の話は、難しい専門用語ではなく身近でとても聞きやすく、わかりやすい内容でした。
- ・とてもわかりやすく知識を深めることができました。ありがとうございます。
- ・連携室やMSWなどに聞かせてしまうが、自分でも知っておくことが必要な具体的なことが知れてよかった。老健が「中間」という認識がなかったので、今後活用したい。
- ・知りたいと思っていた、介護認定の流れとかを知ることができたので良かったです。
- ・相手の立場、役割を知る必要性を今まできちんと考えてこなかったです。これからは自身で勉強してがんばります。
- ・良好な関係が必要ということがわかる。
- ・とても勉強になりました。
- ・医療と在宅が連携するためお互いを理解することが大切だとわかった。
- ・包括支援センターの業務が理解できた。
- ・京谷さん(包括の方々)の思いがとてもよく伝わりました。
- ・京谷さんのお人柄のおかげでお話が頭に入りやすかったです。お笑い芸人以上に面白かったです。仕事や生活に必ず活かしていきます。ありがとうございます。コミュニケーションの大切さ！

4. 今回のような介護関係者向けの研修会を続けてほしいですか？

・続けてほしい	49	(100.0%)
・どちらともいえない	0	(0.0%)
・続けなくてもよい	0	(0.0%)

【ご意見等】

- ・医療者といっても理解しているようでわからないことが多いと思います。ぜひ互いの理解を深める意味でも続けてほしいと思います。
- ・介護保険や地域包括などシリーズ化して勉強会を開催してもらえたらもっと身近に感じられると思います。ワークショップ等。
- ・大変勉強になりました。

5. 今後、どのような内容の研修会を希望されますか？

【具体的な内容等】

- ・医療・介護の現場でよくある困難なケース等についての具体的な対応を聞きたい。
- ・在宅の看取りの現状について。
- ・今回の保健師さんの話が分かりやすかったので、また同じ方でもう少し踏み込んだ内容の話を聞きたい。
- ・薬剤師や薬局と在宅の関わり。(制度も含めて)
- ・在宅での介護レンタルの具体的な選定の仕方等。
- ・介護保険下でのサービスの現状。(函館市)
- ・在→医、医→在へ必要なこと。
- ・介護保険の内容、訪問介護や訪問看護、リハビリ等について関わるものがほとんどないので在宅で働いている方々の話を聞きたいです。
- ・医療と介護が双方を知らなすぎると日々感じている。互いを理解できるような研修会があればと思う。例に、医療・介護のNs、相談員等と、各職種が集まれる機会。
- ・実例やケースについてのグループワーク。
- ・症例検討会。(全体の流れについて、例えば入院から退院、そして在宅の3段階で、時系列で学んでいけるような。介護・医療相互)
- ・お互いの職種、仕事内容の理解が進むと、結果患者に対応が良いかたちで伝わるということを改めて認識できた。話の仕方、視点を変えていくことも大事と思った。
- ・介護の方から、薬局に期待しているところなどを知りたいです。また、逆に薬局の方から、介護の方にどのような協力をすることができるか知りたいです。

6. その他、ご意見

- ・講師の話が大変聞きやすく、楽しく聞くことができました。
- ・参加して良かったです。入院時から、生活、先を見据えた関わり、知識の活用が必要なんだということがわかりました。
- ・京谷さんの講義がとてもわかりやすくよかったです。在宅の意見をよく聞くべきだと感じました。

ご協力ありがとうございました。